

# 講演者プロフィール

---



## 尾崎 俊哉 (おざき としや) 氏

- ・ 立教大学 経営学部 教授
- ・ コペンハーゲン経営大学 客員教授
- ・ 一般社団法人ジャパン・ダイバーシティネットワーク「論点整理研究会」座長
- ・ J-WIN 理事

国際経営、比較経営の観点から、ダイバーシティ経営について研究を行う。『ダイバーシティ・マネジメント入門：経営戦略としての多様性』（ナカニシヤ書店、2017年）、『ダイバーシティ・マネジメントの理論的考察』（「立教ビジネスレビュー」8号、2015年）、『ビジネスのグローバル化、ダイバーシティ・マネジメントとリーダーシップ』（アラン・バード他編）、『入門ビジネス・リーダーシップ』（日本評論社、2007年）など。

### <講師メッセージ>

2016年に「女性活躍推進法」が施行され、女性の活躍に関する情報が、財務情報とともに開示することが義務化された。2017年には厚生年金や国民年金の運用に「女性活躍指数」が取り入れられ、女性の登用状況が株価にも影響し始めている。このような動きを、「企業の社会的責任」という義務や負担とみなす向きもある。他方で、一部の先進的な企業経営者が、女性や外国人を含む多様な人材の活用を、自社の競争力の強化の手段として取り入れ始めている。果たして、女性の登用と業績の向上は、どう結びつくのか。

「ダイバーシティ経営」の実態が、企業規模や業界により異なるのか、企業規模や業界を超えて共通の実態はあるのか、企業規模や業界により、企業内の浸透度に違いがあるのかなど、より詳しい実態の把握を踏まえた考察を行う。これにより、「ダイバーシティ経営」は、企業の直面する課題、企業の使える経営資源、経営者が目指す方向性、外部環境などにより異なる論点に分けられること、対応方法にも複数の可能性があることを示す。実態の分析を通して、「ダイバーシティ経営」が具体的にどのような成果をあげているか、その成功要因は何か、また実施上どのような課題があるか、などについても明らかにする。

以上